

平成 27 年度 第 2 回日本粘土学会評議委員会議事録

日 時：平成 27 年 1 月 24 日(土) 15:00—17:00

場 所：早稲田大学理工学キャンパス 55 号館 N 棟 1 階 第一会議室

出席者（順不同，敬称略）

黒田、河野、山崎、八田、志々目、福島、中川、千野、皆瀬、佐藤、日比野、田村、
鈴木（憲）、鈴木（正）、川俣、亀島、高橋、上原、伊藤、岡田、土信田、横山（記）

1. 報告事項

- (1) 粘土科学の発行・編集状況（鈴木（正））：第 53 巻 2 号以降の発行予定に関して報告された（別紙）。また、別刷りの買上げを廃止し、投稿料制へ移行するか編集委員内で検討するとのことであった。
- (2) Clay Science の発行・編集状況（河野）：Vol. 17No. 3 以降の発行状況と Vol. 18 No. 3 以降の発行予定について報告がなされた（別紙）。また、定期発行の維持やインパクトファクターを取得するためには投稿論文数が明らかに不足しているため、投稿数を増やすための施策について、Clay Science の電子化などの議論がなされた。また、非会員からの投稿も可能であることが確認された。
- (3) 平成 27 年度会計中間収支状況（志々目）：平成 27 年度会計中間収支状況（別紙）の報告がなされ、了承された。
- (4) 第 58 回粘土科学討論会の開催報告・会計報告（鈴木（正））：第 58 回粘土科学討論会の会計決算について報告がなされ、了承された。
- (5) 国際協力（佐藤）：
 - ・ AIPEA へニュースレターを提出したことが報告された。
 - ・ 第 3 回の Asian Clay の開催が、2016 年 11 月に中国広州市で開催される予定であり、詳細は 6 月以降に決定されるとのことであった。
- (6) 企画
 - ①標準粘土（河野）：標準粘土の依頼状況について報告がなされた。また、南アフリカ産パーミキュライト（加水雲母）を新たな参考試料とすべく分析評価を実施中であることが報告された。
 - ②ホームページ（岡田）：ホームページ上の研究グループのサイトに、過去に終了した研究グループのリストを作成して掲載する方向で調整するとの報告があった。
- (7) 庶務 会員動向（黒田）：会員の動向に関して報告があった（別紙）。シニア会員に関する検討および正会員の退会の手続きについて今後検討を開始することが議論なされた。
- (8) 連合等：特になし。
- (8) 事務局（黒田）：共催・協賛について報告があった（別紙）。
- (9) その他 特になし。

2. 審議事項

(1) 第 59 回粘土科学討論会（山口大学）について

川俣委員より第 59 回粘土科学討論会の準備状況と概要について説明がなされた。開催予定日は、平成 27 年 9 月 2 日（水）～5 日（土）であるとのことであった。また、企業向けセミナーの開催方法や発表時間などに関する議論がなされ、了承された。

(2) シンポジウムについて

田村委員より第 59 回粘土科学討論会シンポジウムに関して、粘土鉱物の“滑り”と“摩擦”をテーマにして実施することと、講演候補者リスト案が報告され、了承された。

(3) 第 60 回粘土科学討論会について

第 60 回の粘土科学討論会については、九州大学（箱崎）で開催することを検討していることが報告され、了承された。また、60 周年記念シンポジウム等の開催について今後検討していくこととなった。

(4) その他 特になし。

3. 協議事項

(1) 法人化委員会からの報告（八田）：平成 27 年 1 月 19 日に行われた打ち合わせ結果について報告がなされた。また、今後の法人化に向けたスケジュール（別紙）について報告がなされた。

(2) 粘土ハンドブックの電子書籍化について（河野）：技報堂出版により粘土ハンドブックの電子書籍化が行われる予定であることが報告された。

(3) その他 特になし。

4. その他

特になし

以上